

NYマーケットレポート (2016年11月24日)

外国為替市場では、米国が感謝祭の祝日となり、主要市場が休場となったことから、材料に乏しく限定的な動きとなった。欧州市場では、最近の米経済指標が堅調な結果が続いたことから、米国の複数回の利上げに対する期待感が引き続き材料視され、小動きながらドル/円は堅調な動きとなり、クロス円も底固い動きとなった。ただ、欧州市場の引け後は、市場参加者も少なく、狭いレンジ内の展開が続いた。そして、トルコ中銀が予想外の利上げを発表したことから、一時トルコ・リラが上昇となったが、その後は下落に転じ、対ドルでは前日に続いて最安値を更新する動きとなった。

2016年11月24日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.33	113.39	112.39
EUR/JPY	119.41	119.45	118.50
GBP/JPY	140.70	140.76	139.68
AUD/JPY	83.52	83.57	82.93
EUR/USD	1.0536	1.0557	1.0520

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.55	112.76
EUR/JPY	119.64	119.21
GBP/JPY	141.14	140.43
AUD/JPY	83.69	83.50
EUR/USD	1.0586	1.0518

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.32	113.43	113.11
EUR/JPY	119.60	119.79	119.35
GBP/JPY	141.09	141.31	140.74
AUD/JPY	83.93	84.04	83.59
NZD/JPY	79.33	79.46	79.08
EUR/USD	1.0556	1.0580	1.0543
AUD/USD	0.7408	0.7419	0.7386

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	休場	
S&P500	休場	
NASDAQ	休場	
日経225 (CME)	18425	0
トロント総合	15075.20	-5.71
ボルサ指数	45265.90	+81.81
ボベスパ指数	61395.53	-590.38

*米株式市場は感謝祭のため休場

11/25 経済指標スケジュール	
08:30	【日本】11月消費者物価指数
08:50	【日本】10月企業向けサービス価格指数
08:50	【日本】11月対内外証券投資
14:00	【シンガポール】10月鉱工業生産
16:45	【フランス】11月消費者信頼感指数
18:00	【ポーランド】10月失業率
18:30	【英国】3Q GDP
18:30	【英国】3Q 個人消費
18:30	【英国】3Q 総合事業投資
18:30	【英国】9月サービス業指数
20:00	【英国】11月CBI流通取引調査[報告済売上高]
22:30	【米国】10月卸売在庫
23:00	【メキシコ】10月貿易収支
23:45	【米国】11月マークイット米国サービス業PMI
00:00	【メキシコ】3Q 経常収支

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	休場	
NY 原油	休場	
CME コーン	休場	
CBOT 大豆	休場	

*米商品市場は感謝祭のため休場

米国債利回り	本日	前日
2年債	休場	1.131%
3年債	休場	1.401%
5年債	休場	1.835%
7年債	休場	2.164%
10年債	休場	2.357%
30年債	休場	3.022%

*米債券市場は感謝祭のため休場

ドイツ10年債	0.259%	0.262%
英国 10年債	1.436%	1.449%

11/25 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

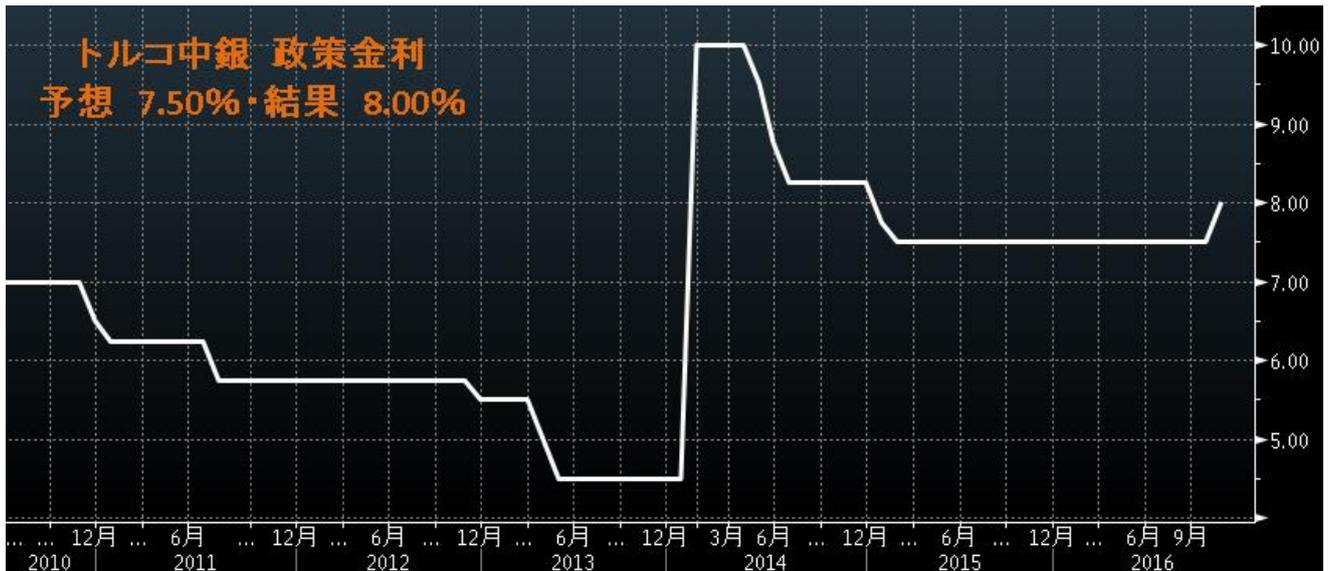
20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

トルコ中銀 政策金利 8.00% (予想 7.50%・前回 7.50%)

トルコ中銀 翌日物貸出金利 8.50% (予想 8.25%・前回 8.25%)

トルコ中銀 翌日物借入金利 7.25% (予想 7.25%・前回 7.25%)



出所 : Bloomberg

トルコ中銀は、市場予想に反して1週間物レポ金利を0.50%引き上げ8.00%とし、翌日物貸出金利を0.25%引き上げ8.50%とした。また、翌日物借入金利は7.25%で変わらなかった。利上げは約3年ぶりとなり、通貨リラの急落とそのインフレへの影響を考慮し、翌日物貸出金利の引き下げを続けていたが、ここにきて政治的圧力に逆らった形となった。なお、前日にエルドアン大統領が、金利低下はまだ不十分との考えを示していた。



出所 : Net Dania

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

12月独 GFK 消費者信頼感調査 9.8 (予想 9.7・前回 9.7)



出所 : Bloomberg

12月の独消費者信頼感指数は、市場予想の9.7を上回る9.8となった。構成指数である景気期待指数は、前月の13.0から15.3に上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。所得期待指数はほぼ変わらず。購買性向指数は改善、貯蓄性向指数は大幅に低下した。GfKのアナリストは、「消費者にとり貯蓄はさほど魅力的な選択肢となっておらず、支出傾向が高まっている」とし、「クリスマスに向け小売業界などの好調が期待できる」との見方を示した。

本日の米国市場は Thanks giving Day (感謝祭) のため休場

Thanks giving Day (感謝祭) は、アメリカとカナダの祝日のひとつで、別名 Turkey Day (七面鳥の日) とも呼ばれている。アメリカでは11月の第4木曜日、カナダでは10月の第2月曜日となっている。

アメリカでは、親族や友人が集まる食事会 (ターキーを購入し、中に詰め物をしたりする料理が多い) を行い、家族の絆を深める行事のひとつとなっている。感謝祭前日と感謝祭後には、日本のお盆の帰省ラッシュのように、高速道路などが大渋滞となる。

ホワイトハウスでは、大統領が感謝祭の朝、二羽の七面鳥を殺される運命から恩赦する (Turkey Pardon) という行事が行われる。

22 : 21

◀ 経済指標の結果 ▶

南ア政策金利発表 7.00% (予想 7.00%・前回 7.00%)



出所：Bloomberg

南ア中銀は、主要政策金利であるレポレート市場の予想通り 7.0%に据え置いた。ただ、クガニャゴ中銀総裁は、会見でインフレ見通しに対するリスクが高まっているとの認識を示し、引き続き動向を注視する考えを示した。また、「金融政策委員会は、インフレ軌道が目標レンジの上限に近いことを懸念している」とし、「委員会は、利上げ局面の終わりは近いとの見方を維持しているが、上振れリスクが生じれば、考えを見直す可能性がある」とした。

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月メキシコ小売売上高 (前月比) -0.2% (予想 0.2%・前回 0.6%)

9月メキシコ小売売上高 (前年比) 8.1% (予想 8.1%・前回 8.9%)



出所：Bloomberg

メキシコ国家統計地理情報局が発表した11月前半の消費者物価指数の前年比上昇率は、市場予想の+3.15%を上回る+3.29%となり、半月分の統計の上昇率としては2015年3月以来の大きさととなった。そして、メキシコ中銀が目標としている+3.00%を上回っており、再度利上げに踏み切る可能性が指摘されている。トランプ氏の当選を受けメキシコペソは過去最低水準に落ち込んでおり、中銀は今月政策金利を0.50%引き上げ、5.25%にしている。

＜欧州のポイント＞

①11月の独IFO業況指数は、市場予想の110.5を下回る110.4となり、10月の改定値と変わらずとなった。ただ、2年半ぶりの高水準を維持した。現況指数は115.6（予想115.0）、期待指数は105.5（予想106.0）。卸売と小売部門の業況感は大いに改善、建設部門は過去最高を記録した。ただ、製造業部門の経営陣の業況感悪化しており、輸出見通しが悪化したことが要因としている。

②ECBは、定例の安定報告で、金融安定に関するリスクがユーロ圏で拡大しており、一部の国の債務持続能力に対する懸念が再度浮上する可能性があるとして指摘した。政局の不透明感の高まりが、国内に焦点をおき、成長を阻害する政策につながる可能性があるとして指摘した。政局の不透明感、2017年に欧州主要国で予定される選挙により国家レベルで高まるだけでなく、英国民投票を受け、EU全体でも高まる可能性があるとの認識を示した。

2:00

＜経済指標の結果＞

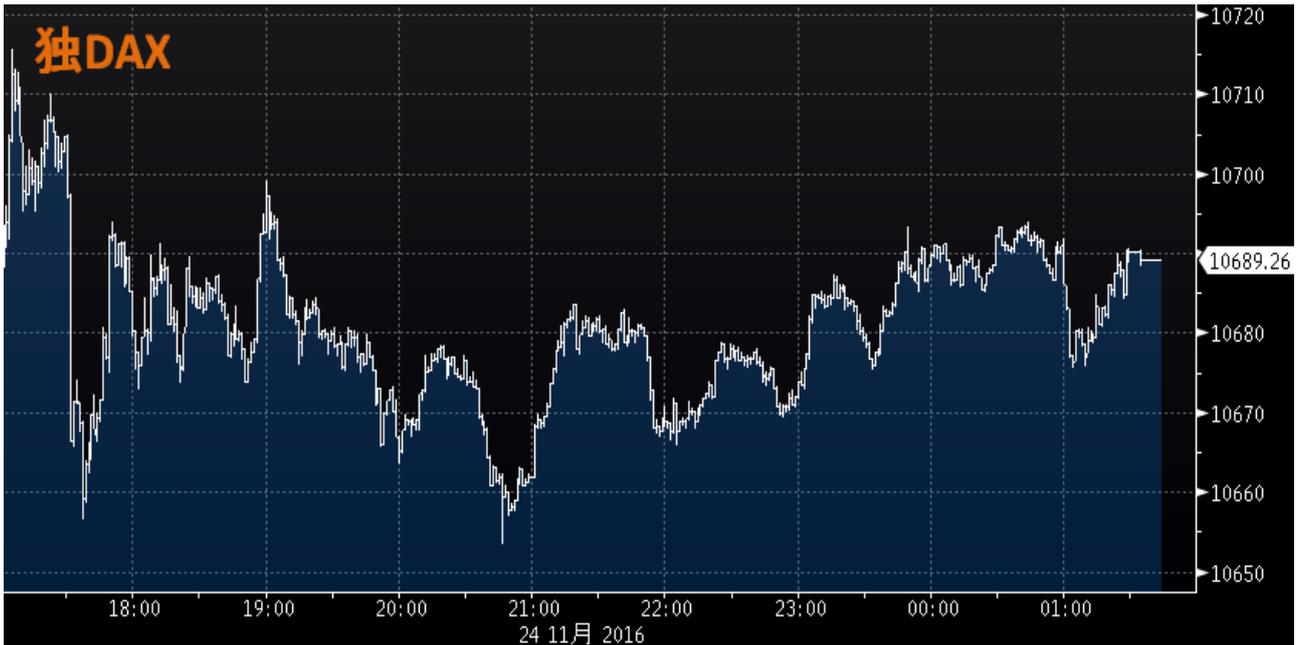
10月フランス求職者数合計 347.9万人（予想 347.8万人・前回 349.1万人）



10月のフランス失業者数は、347万8800人となり、前月比で-0.3%、前年同月比で-2.8%となり、2年ぶりの低水準となった。オランダ仏大統領は、失業者数が確実に減少に向かわない限り、再選は目指さない考えを示していたことから、この結果を受けて、オランダ仏大統領は来年の大統領選への出馬を表明する可能性があるとの見方も出ている。ただ、オランダ氏が大統領に就任した2012年5月時点、現状では約63万人上回っている。

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、米ダウ平均が最高値を更新したことや、日経平均が堅調な結果となったことを受けて、買いが先行した。ただ、その後は方向感の欠く動きとなり、小幅高となった。



出所：Bloomberg



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。